

富士計装株式会社

2022年度 環境経営レポート

対象期間

(2022年10月～2023年9月)



発行日: 2024年1月30日

1. 組織の概要

事業者名
富士計装株式会社

代表者名
代表取締役社長 安藤 通英

所在地
愛知県豊田市河合町6丁目10番地

事業の概要
建設業(電気工事業 : 愛知県知事許可(般-3)第58635号)

環境管理責任者
取締役 安藤 慎悟

担当者連絡先
富士計装株式会社 総務 取締役 安藤 慎悟
TEL 0565-74-1177 FAX 0565-74-1193

事業活動の内容
システム・シーケンスソフト・表示器ソフト設計
制御盤製作
電気配線工事

事業の規模
年度売上高
382百万円 (2022年度)

従業員数
24名 (2022年度)

事業所延床面積
626 m²

2. 対象範囲, レポートの対象期間及び発行日

組織 : 富士計装株式会社 全組織(本社・工場)

活動 : 前記 事業活動の内容の通り

レポートの対象期間 : 表紙に記載の通り

レポートの発行日 : 表紙に記載の通り

環 境 経 営 方 針

企 業 理 念

「我社は時代の流れに先んじ優れた技術を以って顧客の信頼に応える」

- 1)和 対人関係に気を配り会話を大切にする
- 2)忍 常に新しい技術の習得に努力する
- 3)改 常に革新、改善を心がけコスト低減を図る

☆オンリーワン企業をめざす

環 境 理 念

当社は、電気工事業の事業活動において、常に環境保全を意識し、環境への影響に配慮しながら業務を行う事が重要であると認識しています。

環境経営システムの構築及び運用を行うことにより、環境保全活動を自主的・積極的に推進します。

行 動 指 針

- (1) 当社に、適用される法規制、当社が同意するその他の環境関連要求事項を遵守します。
- (2) 次の事項について具体的な環境経営目標・環境経営計画を定め実施します。
 - ① 省エネルギーに取り組み二酸化炭素排出量を削減します。
 - ② 分別の徹底・リサイクルの推進に努め廃棄物排出量を削減します。
 - ③ 節水に努め水使用量を削減します。
 - ④ 環境に配慮した電気工事の促進を図ります。
 - ⑤ 社会貢献活動を積極的に行います。
- (3) 本方針を全社員に周知し、環境経営システムの継続的改善を進めます。

制定日 2011年10月1日
改定日 2019年10月1日

富士計装株式会社
代表取締役社長 安藤 通英

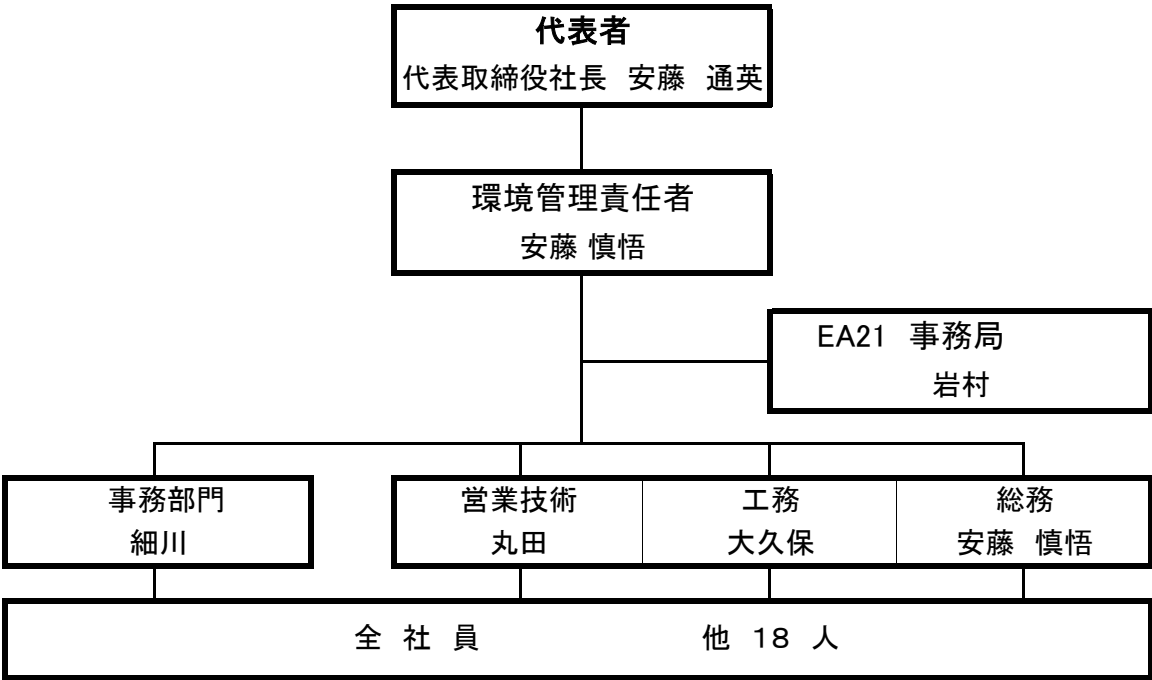
エコアクション21
EA21 実施体制

作成日:2022年10月1日

承認者:安藤 通英

作成者:安藤 慎悟

従業員:24名



役割・責任・権限

役割	担当者	責任・権限
代表者	安藤 通英	・経営における課題とチャンスの明確化 ・環境経営方針の作成・環境管理責任者の任命 など実施体制の構築 ・経営資源の準備・代表者による全体の評価と 見直し・指示 ・環境経営目標・環境経営計画の承認 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	安藤 慎悟	・代表者に代わり、環境経営システムを構築・ 運用し・維持し、その状況を代表者に報告する ・環境経営目標・環境経営計画書の作成 ・環境経営レポートの作成 ・外部からの環境に関する苦情や要望を受付
EA21事務局	岩村	・環境関連文書・記録の素案作成・管理
担当者	安藤 慎悟 丸田 大久保 細川	・EA21取組実施、状況確認、記録記載 必要書類の事務局への提出
全社員	全社員	・各環境経営計画の実行

環境経営目標一覧

基準年度:2010年度(2010年10月－2011年9月)

作成 : 2019年11月20日	
見直し : 2023年12月11日	
承認	作成
安藤(通)	安藤(慎)

特定した環境への負荷			2010年度 基準年度	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素の排出	購入電気の使用		単位: kWh 37,854 : kg-CO ₂ 17,110 ※1	基準年度比21%削減する 単位: kWh 29,904 : kg-CO ₂ 13,517 ※1	基準年度比18%削減する 単位: kWh 31,040 : kg-CO ₂ 14,030 ※1	基準年度比18%削減する 単位: kWh 31,040 : kg-CO ₂ 14,030 ※1
	化石燃料の使用	ガソリン使用	単位: ℓ 13,914 : kg-CO ₂ 32,280	基準年度比25%削減する 単位: ℓ 10,436 : kg-CO ₂ 24,212	基準年度比25%削減する 単位: ℓ 10,436 : kg-CO ₂ 24,212	基準年度比25%削減する 単位: ℓ 10,436 : kg-CO ₂ 24,212
		軽油使用	単位: ℓ 3,731 : kg-CO ₂ 9,626	基準年度比25%削減する 単位: ℓ 2,798 : kg-CO ₂ 7,219	基準年度比25%削減する 単位: ℓ 2,798 : kg-CO ₂ 7,219	基準年度比25%削減する 単位: ℓ 2,798 : kg-CO ₂ 7,219
	二酸化炭素合計		単位: kg-CO ₂ 59,016	単位: kg-CO ₂ 44,948	単位: kg-CO ₂ 45,461	単位: kg-CO ₂ 45,461
廃棄物の排出	一般廃棄物	その他可燃ごみ ダンボール 廃紙類	(可燃物とし、処理) 単位: kg 480	基準年度比5%削減する 単位: kg 456	基準年度比5%削減する 単位: kg 456	基準年度比5%削減する 単位: kg 456
			(分別再資源化処理)	分別再資源化促進	分別再資源化促進	分別再資源化促進
	産業廃棄物	廃プラスチック その他	(産廃として処理) 単位: kg 294	基準年度比6%削減する 単位: kg 276	基準年度比6%削減する 単位: kg 276	基準年度比6%削減する 単位: kg 276
		廃金属	(分別再資源化処理)	分別再資源化促進	分別再資源化促進	分別再資源化促進
総排水	上水の使用		単位: m ³ 130	基準年度比2%削減する 単位: m ³ 127	基準年度比2%削減する 単位: m ³ 127	基準年度比2%削減する 単位: m ³ 127
社会貢献活動	会社及び周辺の清掃・緑化等		管理していなかったもので、 2010年度を[0]とする	会社・周辺の清掃・緑化 1回以上/1ヶ月	会社・周辺の清掃・緑化 1回以上/1ヶ月	会社・周辺の清掃・緑化 1回以上/1ヶ月
	環境に配慮した電気工事の促進		管理していなかったもので、 2010年度を[0]とする	基準年度より 8点多く使用する	基準年度より 8点多く使用する	基準年度より 8点多く使用する

※1 中部電力(株)2018年度 調整後排出係数:0.452(kg-CO₂/kWh)を採用した。

※ 灯油(ストーブ)は、業務上の細かい指先の作業において 冬季のみは必須になりますので環境目標としては設定しておらず、二酸化炭素合計の数値にも含まれておりません。

※ 基準年度の灯油を含めたCO₂総量は、61,432(kg-CO₂)でした。

※ 化学物質の使用はありません。

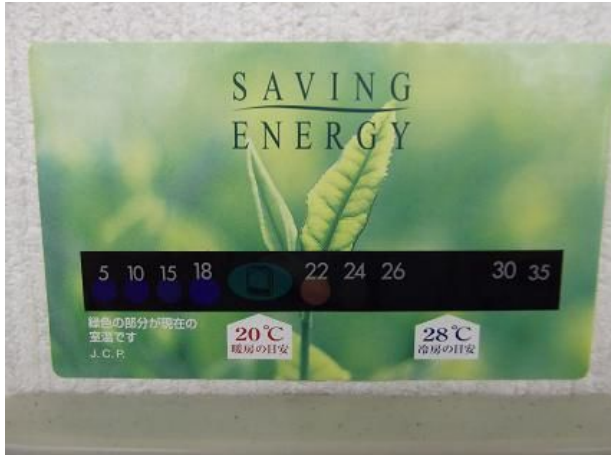
2022年度環境経営計画

2022年 10月～2023年 9月

作成日：2022年10月1日
作成者：安藤(慎)

特定された環境への負荷			特定した活動・設備・物質		管理方法	担当者	2021年度日程計画									
			達成手段				2022・10	2022・11	2022・12	2023・1	2023・2	2023・3	2023・4	2023・5	2023・6	2023・7
二酸化炭素の排出	購入電気の使用		1. 蛍光灯で照明する。 不要照明を消灯する。	点検表	細川	点検表作成・運用開始 点検表により実施している。	3カ月運用確認・見直し 継続運用を行う			確認・評価・見直し	継続運用	確認評価・次期計画				
			2. 水銀灯で照明する。 不要照明を消灯する。	点検表	細川	点検表作成・運用開始 点検表により実施している。	3カ月運用確認・見直し 継続運用を行う			確認・評価・見直し	継続運用	確認評価・次期計画				
			3. エアコンで冷暖房をする。 点検表による温度管理の充実する。(暖20℃、冷28℃)	点検表	細川	点検表作成・運用開始 点検表により実施している	3カ月運用確認・見直し 継続運用を行う			確認・評価・見直し	継続運用	確認評価・次期計画				
			4. パソコンなど電気機器を使用する。 各所に節電タップを設置し、不要時はスイッチOFFにする。	点検表	細川	点検表作成・運用開始 点検表により実施している	3カ月運用確認・見直し 継続運用を行う			確認・評価・見直し	継続運用	確認評価・次期計画				
			5. エネルギー使用量の見える化(2台〔従量電力、低圧電力〕) Panasonic エネエールSを運用する。	意識改革記録	安藤	エネルギーモニター Panasonic エネエールSを運用する。 社員通用口付近の場所に設置し、節電への意識改革実施。				確認・評価・見直し	継続運用	確認評価・次期計画				
			6. グリーンで二酸化炭素を排出しない新エネルギーを生み出す。 会社 社屋の屋上に太陽光発電設備を導入、運用する。	導入運用	安藤	グリーンで二酸化炭素を排出しない新エネルギーを生み出すことでCO2削減に協力する。 会社 社屋の屋上に太陽光発電設備を導入、運用する。				確認・評価・見直し	継続運用	確認評価・次期計画				
	化石燃料の使用	ガソリン使用	1. 営業車で営業業務を行う。商用車で資材等を運搬する。 ・エコ運転を励行する。 ・ルートを効率的に行う。	点検表	丸田	エコドライブの説明、運用。 点検表作成・運用開始	3カ月運用確認・見直し 継続運用を行う			確認・評価・見直し	継続運用	確認評価・次期計画				
			2. 営業車を低燃費車にしていこうに推進する。	導入	安藤	燃費の悪い車から、低燃費車に車を乗り換えることを推進する。				確認・評価・見直し	継続運用	確認評価・次期計画				
		軽油使用	1. 貨物車で資材等を運搬する。 ・エコ運転を励行する。	点検表	大久保	エコドライブの説明、運用。 点検表作成・運用開始	3カ月運用確認・見直し 継続運用を行う			確認・評価・見直し	継続運用	確認評価・次期計画				
廃棄物の排出	一般廃棄物	廃紙類	1. 事務処理伝票・コピー紙等を使用する。 分別ボックスを置き裏面活用を推進する	点検表	細川	分別ボックスを設置し、説明。	3カ月運用確認・見直し 継続運用を行う			確認・評価・見直し	継続運用	確認評価・次期計画				
		ダンボール類	1. 分別BOXを用意して、分別の徹底を行う。	点検表	安藤	分別ボックスを設置し、説明。	3カ月運用確認・見直し 継続運用を行う			確認・評価・見直し	継続運用	確認評価・次期計画				
	産業廃棄物	廃金属 廃プラスチック その他	1. 工事等をする。 分別ボックスを明確化する 分別の徹底を図る	点検表	安藤	分別ボックスを設置し、説明。	3カ月運用確認・見直し 継続運用を行う			確認・評価・見直し	継続運用	確認評価・次期計画				
総排水	上水の使用		1. 生活用水で使用する。 節水を励行する。	点検表	岩村	節水の説明、運用。 各水道の部分にステッカー等を貼り節水を励行する。	3カ月運用確認・見直し 継続運用を行う			確認・評価・見直し	継続運用	確認評価・次期計画				
地域貢献活動	会社及び周辺の清掃等		1. 会社及び周辺の清掃等を定期的に行う。	実施	安藤	1回/1ヶ月の清掃等を行う。	見直し	1回/1ヶ月の清掃等を行う。	見直し	1回/1ヶ月の清掃等を行う。	見直し					
環境に配慮した電気工事の促進			1. 製品の設計・製作をする。 省エネ設計・省エネ部品の使用を促進する。	設計・製作	丸田	制御盤、操作盤等の設計の段階から省エネ等、環境負荷に配慮した設計・製作を行う確認・評価・見直し (低消費電力化、小型化他)				継続運用	確認評価・次期計画					

環境経営計画に基づき実施した取組内容



室内温度の表示シール(啓発)



エアコンの設定温度の目安の掲示



照明SWの個別表示(不要な照明の点灯防止)



節電タップ活用による待機電力の削減



白熱電球をLED電球に変更



蛍光灯をLED蛍光灯に変更

環境経営計画に基づき実施した取組内容



電力使用量の見える化(電力モニター設置) 常時ロギング メモリカードにデータ収集中



エコドライブの推進(エコドライブ教本の掲示)



裏紙ボックスによる裏紙活用の推進



廃紙ボックスによる分別、再資源化の推進



ダンボールボックスによる分別、再資源化の推進

環境経営計画に基づき実施した取組内容



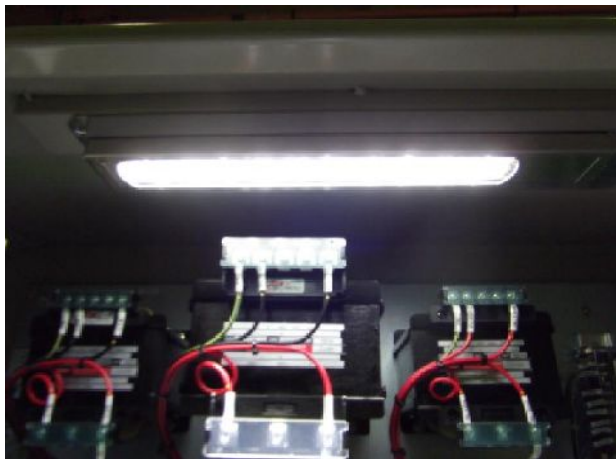
廃棄物の分別の明確化、再資源化の推進



節水の励行(啓発シールの表示)



CO2 排出削減 啓発ポスター掲示



環境に配慮した設計、製作(LED照明の採用)
(制御盤内照明)

環境経営計画に基づき実施した取組内容

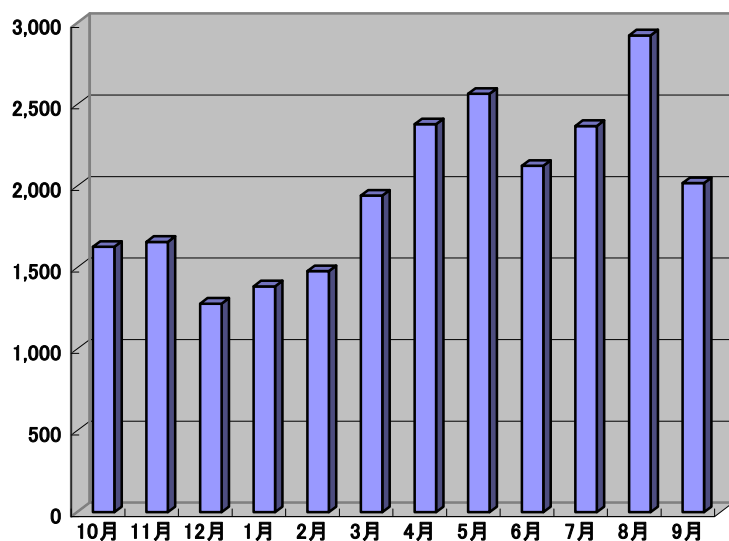
二酸化炭素排出量削減を目的とした環境貢献活動の一つとして、代表的な再生可能エネルギーである太陽発電システム（20kW、太陽光パネル 96枚）を社屋の屋上に設置し、運用しています。

今回の運用期間である2021年度の太陽光発電 電力量は、年間 “23,764 (kWh)” で、二酸化炭素排出量に換算すると、10,741 (kg-CO₂)に相当する二酸化炭素排出量削減効果がありました。

(※ 中部電力(株)2018年度 調整後排出係数:0.452(kg-CO₂/kWh) を採用)

2022年度 月別	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
太陽光発電量 (kWh)	1,628	1,659	1,280	1,386	1,479	1,943	2,381	2,567	2,125	2,370	2,926	2,020	23,764

太陽光発電 電力量 (kWh)



環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価、並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画

環境経営方針の項目		取組の項目		単位	環境経営目標及び環境経営計画の実績						環境経営計画の取組結果とその評価、並びに次年度の環境経営計画 (次年度の環境経営計画については2022年度環境経営計画の継続と致します。)		次年度
					2010年度	2022年度							2023年度
					基準年度	目標増減率	環境経営目標	実績	増減	増減率(%)	評価	環境経営目標	
1	二酸化炭素排出量	購入電気の使用	従量電灯 (エアコン等以外)	kWh	25,539	▲18%	20,942	16,033	▲ 9,506	-37.2%	○	・電気の使用量の削減に関しましては、節電タップによる待機電力の削減、電力モータの常時設置による見える化の推進、掲示による節電の啓発等により取り組んでまいりました。その結果、購入電気全体で、基準年度に対して 17.7% の削減となりました。(電力会社から従量電灯と低圧電力の2系統の電力供給を受けていますので分けて記載しています。) 次年度も引き続き、上記の様な節電活動を継続していきます。 ・上記の他に電気関係での環境貢献活動として、社屋の屋上で太陽光発電し2022年度の太陽光発電量は23,764(kWh)で二酸化炭素排出量に換算すると10,741(kg-CO ₂)に相当する二酸化炭素排出量削減効果がありました。 ・化石燃料使用量の削減に関しましては、エコドライブの推進とアイドリングストップの指導、低燃費車(ハイブリッド車含む)の導入等によって進めてまいりました。これらにより ガソリン・軽油 合計の化石燃料の使用量は基準年度に対して 42.9% の削減となりました。 次年度も、エコドライブの推進、アイドリングストップの指導等を継続していきます。 ・電気と化石燃料を合わせた二酸化炭素排出量の削減結果は、基準年度に対して 34.9% の削減となりました。灯油を含めたCO ₂ 総量は、41,389 (kg-CO ₂)でした。 ・コピー機やプリンターの周辺に裏紙ボックスを置き、裏紙の活用を推進しました。基準年度に対して 41.7% の削減になりました。次年度も、裏紙活用、分別、再資源化の促進を継続していきます。 ・基準年度に対して 82.0% の増加となりました。 次年度も、分別と再資源化の促進を継続していきます。 ・基準年度に対して30.8%使用量が増加しました。弊社では、生産活動には水を使用しておらず、水の主な使用は、トイレと給茶器(来客用等)になります。(全体の使用量としては非常に少ないです。) 次年度は目標が達成できるよう節水の励行をしていきます。 ・制御盤内の照明を従来の蛍光灯からLED照明(8点)に変更しました。次年度も省エネ設計・省エネ部品の提案を促進していきます。 ・清掃を実施しました。次年度も継続して実施していきます。	※ 環境経営目標一覧の頁に記載
			低圧電力 (エアコン等)	kWh	12,315	▲18%	10,098	15,106	2,791	22.7%	×		
			従量電灯 低圧電力 合計	kWh	37,854	▲18%	31,040	31,139	▲ 6,715	-17.7%	△		
		化石燃料の使用	ガソリン使用	ℓ	13,914	▲25%	10,436	6,299	▲ 7,615	-54.7%	○		
			軽油使用	ℓ	3,731	▲25%	2,798	3,776	45	1.2%	×		
			ガソリン 軽油 合計	ℓ	17,645	▲25%	13,234	10,075	▲ 7,570	-42.9%	○		
		kg-CO ₂ 合計		kg-CO ₂	59,016		45,460	38,431	▲ 20,585	-34.9%			
		2	廃棄物の排出量	一般廃棄物	その他可燃ごみ ダンボール 廃紙類	kg	480	▲5%	456	280	▲ 200		
kg								再資源化 710					
産業廃棄物	廃プラスチック その他 廃金属			kg	294	▲6%	276	535	241	82.0%	×		
				kg				再資源化 908					
3	水使用量			上水の使用		m ³	130	▲2%	127	170	40	30.8%	×
4	環境に配慮した電気工事の促進			点数	8点多く使用する			8点	-	-	○		
5	社会貢献	会社周辺清掃等		回数	1回/1ヶ月以上清掃する			12回	-	-	○		

※ 評価内容 ○: 目標達成及び計画以上 ×: 目標未達成 △: 基準年度より削減(または維持)できたが目標未達成

※ 中部電力(株)2018年度 調整後排出係数: 0.452(kg-CO₂/kWh)を採用した。

※ 基準年度の灯油を含めたCO₂総量は、61,432(kg-CO₂)、2022年度の実績は41,389 (kg-CO₂)でした。

※ 化学物質の使用はありません。

作成: 2023年12月11日

環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果,並びに違反、訴訟などの有無

承認	作成
社長	環境管理責任者
安藤(通)	安藤(慎)

評価者: 環境管理責任者

法の名称	法の基準・規制値	当社の順守・管理項目	関係資料または 評価方法	評価 結果	評価 年月日
廃棄物処理法	・廃棄物収集・運搬・処理業者との委託契約 ・処理場の確認・1回/年 ・保管場所の確保と掲示板の掲示 ・廃棄物の飛散・流出・地下浸透しない ・マニフェストの発行及び管理 - A票の保管 - B2票・D票は90日以内返却 - E票は180日以内返却 - 上記不順守、不適切な処置は県知事に報告 - A,B2,D,E各票は5年間保管 ・産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出	・委託契約書の締結と保管 ・許可証の確認 ・優良認定事業者のため不要 ・掲示板の掲示の確認(60cm角以上) (表示内容は廃掃法による) ・飛散・流失・地下浸透の確認をする - 廃棄物毎、処分事業所毎に発行の確認 - A票の保管の確認をする - B2票・D票は90日以内返却確認をする - E票は180日以内返却確認をする - 不適切な処置は県知事に報告する - A,B2,D,E各票は5年間保管確認 ・市役所に報告書の提出	委託契約書 集運処理許可証 — 掲示板現物確認 現物確認 マニフェスト台帳 報告書の提出	○ ○ — ○ ○ ○ ○	2023.12.11 2023.12.11 — 2023.12.11 2023.12.11 2023.12.11 2023.4.3
家電リサイクル法 冷蔵庫・ブラウン管テレビ エアコン(使用済家庭用 ユニット型エアコン) 洗濯機 乾燥機 液晶テレビ	・引取業者への適正な引渡し - リサイクル料金の支払い - 家電リサイクル券の写し受領 - 排出者向け引取り確認(ホームページ) 「廃冷媒の発生」は家電リサイクル法に準じて管理・処理する	購入店への引渡しをする 公表された、収集運搬料・リサイクル料金の支払い 家電リサイクル券の写し受領の確認をする 家電メーカーへの引渡しの確認する	預託証明書 (対象品目の廃棄がないため未評価)	—	—
自動車リサイクル法 (使用済み自動車)	- 引き取り業者への適正な引渡し - リサイクル料金の支払い(リサイクル券) - 引取り業者より引取証明書の受領	登録された引取り業者への引渡し確認 メーカーが定める3品目料金の預託証確認 引取り証明証の受領の確認をする	リサイクル 預託証明書等 (車両の廃棄がないため未評価)	—	—
県条例 自動車の使用に伴う 環境への負荷低減	・自動車を駐車場する時は原動機を停止(アイドリング・ストップ)しなければならない。 ・従業員にアイドリング・ストップの指導をこと。	・エコドライブ点検表により管理する ・環境教育時にアイドリング・ストップの教育をする	エコドライブ点検表	○	2023.12.11
フロン類の使用の 合理化及び管理の 適正化に関する 法律 (フロン排出抑制法)	・第一種特定製品の管理者は、「管理者の判断基準」に基づき、管理する第一種特定製品について点検等を実施します。 ・第一種特定製品の整備者や廃棄等実施者はフロン類の充填・回収や、機器の廃棄等が必要な時はフロン類回収業者に対して充填・回収の委託や引渡しをします。	・フロン排出抑制法 機器点検表により管理する ・フロン類の充填・回収や、機器の廃棄等が必要な時はフロン類回収業者に対して充填・回収の委託やフロン類の引渡しをします。	フロン排出抑制法 機器点検表 (廃棄がないため未評価)	○ —	2023.12.11 —
顧客からの要望事項	・環境保全活動を組織的に改善を進める体制を整備いただくことを目的に「ISO14001認証取得」または「エコアクション21」等を基本とした環境マネジメント・システムの構築と整備に努めること	・2012年4月3日「エコアクション21」の認証・登録	エコアクション21の 認証を取得	○	2012.4.3

環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反、訴訟等はありません。

なお、関係当局の違反等の指摘は、過去3年間ありません。

代表者による全体の取組状況の評価及び見直し・指示

「全体見直しに必要な情報を収集・環境管理責任者に報告を求めシステムの有効性、取組の適切性を評価する」

環境管理責任者による見直しに必要なコメント	作成者:環境管理責任者 安藤(慎) 作成日:2023年12月11日
1. 環境目標とその達成状況(達成した場合は設定に問題が無かったか、次年度の目標設定について、未達成の場合は原因と次年度の目標や対応策について記載)	
全社員で取り組みを継続し、二酸化炭素排出で大きな割合を占めている化石燃料、電力(従量電灯)の使用についての削減が順調に進んでいる。 次年度についても目標設定は変更しないまま、再度、活動を推進し、推移をみていきたい。	
2. 環境活動計画の実施状況(取組に問題が無かったか、次年度の取組について記載)	
各項目により、達成、未達成のバラつきはありますが、全体的には、削減が順調に進んでいるため、次年度も当面このまま進めたい。実施事項を全員に再徹底する。	
3. 環境関連法規の見直し・遵守状況	
問題なし	
4. 審査結果情報(初回・登録時は対象外)	
2023年3月14日 現地審査 : 適合	
5. 内部・外部からの苦情・称賛等の受付結果	
内外とも環境情報はない。	
6. 問題点の是正予防報告書	

代表者による変更の必要性の判断	代表者 安藤 通英
	2023年12月11日
1. 環境方針の変更 無	
2. 環境目標の変更 無	
3. 活動計画の変更 無	
4. 実施体制の変更 無	
変更の理由(詳細にわたる場合は別紙添付)	
環境管理責任者への指示事項	
二酸化炭素排出量の削減が順調に進んでいるので、引き続き活動を継続すること。 ただ、環境活動は持続性も大切なので、現実的に無理があるような高すぎる目標は立てないようにすること。	